

【概要】

住宅ローン利用者の実態調査

【住宅ローン利用予定者調査(2020年5月調査)】

※調査名称に調査実施時期を明記することといたしました。

I 調査の概要

今後5年以内に住宅を取得する計画があり、かつ、住宅ローンを利用する予定がある方を対象とし、希望する住宅ローンの金利タイプ、住宅取得に向けた意識や行動などについて調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

(参考) 調査実施時期：2020年5月26日～6月4日、回答数：1,500件

II 調査結果の主なポイント

〈〉は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 利用予定の金利タイプでは、「全期間固定型」が増加、「固定期間選択型」が減少、「変動型」は概ね横ばい 〈p. 2〉

- ・「変動型」：32.3% (2020年3月調査32.5%)
- ・「固定期間選択型」：33.8% (同36.0%)
- ・「全期間固定型」：33.9% (同31.5%)

2 今後1年間の住宅ローン金利見通しについて、「現状よりも上昇する」が減少、「現状よりも低下する」、「見当がつかない」が増加。「ほとんど変わらない」は概ね横ばい 〈p. 3〉

〈今後1年間の住宅ローン金利見通しについて(全体)〉

- ・「現状よりも上昇する」：22.5% (2020年3月調査25.3%)
- ・「ほとんど変わらない」：36.3% (同36.7%)
- ・「現状よりも低下する」：19.0% (同17.2%)
- ・「見当がつかない」：22.1% (同20.9%)

3 住宅の買い時意識では、引き続き、「分からない」が約4割 〈p. 5、p. 6〉

〈今(今後1年程度)の住宅の買い時意識〉

- ・「分からない」：41.7% (2020年3月調査41.2%)
- ・「買い時だと思う」：34.9% (同34.4%)
- ・「買い時だと思わない」：23.3% (同24.5%)

〈買い時だと思う理由〉

- ・「住宅ローン金利が低水準だから」：69.8% (2020年3月調査79.0%)
- ・「税制のメリットが大きいから」：33.8% (同40.8%)
- ・「住宅価格が安くなったから」：31.5% (同27.2%)
- ・「金融緩和政策が継続しているから」：20.0% (同16.2%)
- ・「住宅取得促進策が実施されているから」：17.9% (同18.1%)
- ・「その他」：3.8% (同2.0%)